



けやき

学校だより10月号
西東京市立住吉小学校
校長 三澤 亘潤
令和8年9月30日
042-423-4187

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-sumiyoshi/>

道徳授業地区公開講座を終えて

～SNS との付き合い方を一緒に考える～ 副校長 山本 英男

9月26日に、授業公開及び道徳授業地区公開講座を開催しました。あいにくの天候の中、662名の多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

道徳授業地区公開講座では、去年の「オンラインカジノ」に続き、今年もひかり総合法律事務所の弁護士・清水聡様をお迎えし、「SNS 利用に伴う課題」についてお話いただきました。今年も保護者の皆様だけでなく、4～6年生の子ども達にも参加してもらい、みんなで SNS について考える時間としました。

今、SNS は私たちの生活の中にすっかり身近なものとなっています。子ども達にとっても、友達とのつながりをつくったり、さまざまな情報を得たりする便利な道具です。その一方で、使い方を一歩間違えると、人を傷つけたり、自分自身が困ったりすることもあります。

私は子ども達に「見つからなければいい」「怒られなければいい」という気持ちではなく、「これは本当にしてよいことなのか」「相手はどんな気持ちになるのかな」と、一度立ち止まって考えられる人になってほしいと思っています。誰かに見られているからやめるのではなく、誰も見ていなくても「これはやめておこう」と自分の心で判断できること。反対に、「これはやってよかった」と自分の心がすっきりすること。そのような一つ一つの経験が、その子の「心根」や「道徳性」を育てていくのだと考えます。

清水弁護士のお話の中で、「子ども自身が SNS を適切に管理できるようになることが大切」とありました。確かにこれはとても大切なことですが、子どもたちにとって簡単なことではありません。だからこそ、子どもだけに任せるのではなく、保護者の責任のもと、一緒に考え、見守っていくことが大切です。

ぜひ、SNS を使う時間や設定、投稿する内容などについて、お子さんと話をしていただければと思います。「今日は何を見たの?」「こんなときはどうしたらいいと思う?」と、親子で話してみてください。何気ない会話の積み重ねが、子ども達を守ることにつながります。今回の道徳地区公開講座が、ご家庭で SNS について話し合うきっかけになっていれはうれしく思います。

また、子ども達の SNS の利用については、家庭だけ、学校だけで考えるものではありません。子ども達、保護者の皆様、教職員が一緒になって考えていくことによって、子ども達が、画面の向こうにいる相手の気持ちを想像できる、優しい人に育つことができると考えています。

これからも、子ども達の「心」を大切にしながら、学校と家庭、そして地域が手を取り合って、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

CSのひろば

先日、第三回学校運営協議会を開催いたしました。皆様にご協力いただきました、一回目の学校評価や今までの取組、今後の取組予定など説明させていただき、委員の皆様から、ご承認をいただきました。今後も教育活動が保護者・地域の皆様からご理解いただけるように、教職員一同全力で取り組んでまいります。引き続き、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

【置き傘について】下校時の急な降雨に備え、教室のロッカーに折り畳み傘やレインコートを常備するようにします。ご協力をお願いいたします。

【電話対応時間と欠席メールについて】

電話対応時間 平日の午前8時00分 ～ 午後5時45分

この時間外には音声対応となります。ご不便をおかけして恐縮ではございますが、ご協力をお願いいたします。
すぐーるでの欠席や遅刻の連絡は、当日の8:15までにお願いします。8:15以降は電話連絡をお願いします。